

地域連携パス



宮 崎 県



宮崎県地域連携パスとは

1. 宮崎県地域連携パスとは、あなたの肝がんに対する治療を行った基幹病院/手術病院とかかりつけ医などとの間で、あなたの治療経過・状態などの情報を共有することを目的とし、作成されました。
2. これを活用することにより全ての医療機関が協力し、患者さんの視点に立った安心で質の高い医療を提供することを目標としています。
3. 他の医療機関を受診される際にも、これをお持ちいただければ、あなたの肝がんに対する治療情報が正確に伝わり、診療に役立ちます。
4. 肝がんの場合は再発の有無などを確認する目的で定期的な再診・検査が必要です。受診間隔・専門的検査などの具体的な内容は各基幹病院/手術病院が策定し、本パスを通して患者さん及びかかりつけ医などに提示することになります。
5. なお、肝がん以外のがん（肺がん、胃がん、大腸がん、乳がん、婦人科がん、前立腺がんなど）は、このパスにある検査の対象外となります。かかりつけ医で診ていただくか地域の健康診断などをお受けください。

宮崎県地域連携パスを用いた診療の流れ



宮崎県地域連携パスとお薬手帳を持っていれば安心です

宮崎県地域連携パスの使い方について

1. 患者さんは、このパスを受け取られた後、5～6ページの記載をお願いします。また、診療予定表の体重の記載を診察前に記入して下さい。

このパスには患者さん個人の情報が記載されています。紛失しないように大切に取扱いして下さい。

2. 入院治療にあたられた基幹病院/手術病院の入院主治医である先生は7～8ページの記載をお願いします。尚、原則として、このパスは入院治療の度に新規のものに更新して下さい。

3. かかりつけ医ならびに基幹病院/手術病院の外来主治医である先生は、9～12ページの記載をお願いします。これを行うことにより、がん治療連携指導料が算定可能となります。

4. 13～16ページには通信欄があります。かかりつけ医と基幹病院/手術病院間の診療情報交換に用いて下さい。これに書き切れない場合は、診療情報提供書にて情報提供をお願い致します。

かかりつけ医、基幹病院/手術病院の役割

1. かかりつけ医

肝がんの患者さんは、肝炎ウイルス(C型肝炎ウイルスやB型肝炎ウイルス)に感染している可能性が高く、そのため、慢性肝炎や肝硬変といった病気を合併していることがほとんどです。これらの合併疾患に対する治療には、注射や投薬が必要となりますが、これらは通常、かかりつけ医に行っていただくことになります。

また、風邪を引いた場合や体調不良時、何か心配なことがある時には、まずかかりつけ医にご相談ください。

2. 基幹病院 / 手術病院

CTやMRIなどの肝がんに対する専門的な検査は基幹病院/手術病院で行います。肝がんは高い確率で再発する病気です。CTなどで再発が見つかった場合は基幹病院/手術病院に入院して治療を受けていただくことになります。

また、肝硬変の方には食道静脈瘤が出来て、そこから出血する危険性があります。したがって、内視鏡検査も定期的に行う必要があります。これも基幹病院/手術病院で行います。

尚、緊急を要する場合で休日や夜間等でかかりつけ医を受診できない場合は、治療を受けた基幹病院/手術病院までご連絡ください。

肝炎ウイルス	あり	HBV ・ HCV	なし
核酸アナログ	あり		なし
肝炎治療歴	あり(	)	なし
食道静脈瘤	あり(L	F C RC Lg)	なし
	検査日	年 月 日	
静脈瘤治療歴	あり(EIS・EVL・手術	年 月)	なし

下記評価日 年 月 日

Child-Pugh分類 /15点、 A(5・6点)・B(7～9点)・C(10点以上)

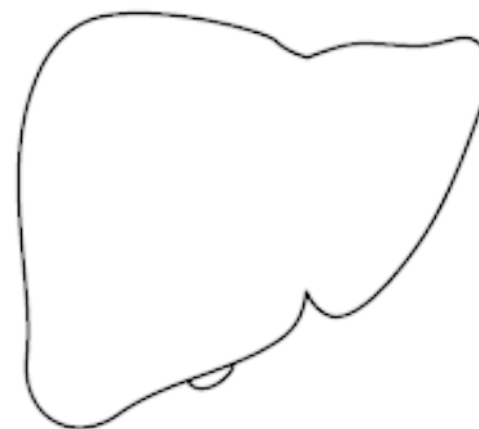
項目	data	1点	2点	3点
T-Bil	mg/dl	2.0mg/dl未満	2.0～3.0mg/dl	3.0mg/dl超
Alb	g/dl	3.5g/dl超	2.8～3.5g/dl	2.8g/dl未満
PT(%)	%	70%超	40～70%	40%未満
腹水		なし	少量	中等量以上
脳症		なし	軽度	ときどき昏睡

肝障害度 A・B・C (二項目以上が合致)

項目	data	A	B	C
T-Bil	mg/dl	2.0mg/dl未満	2.0～3.0mg/dl	3.0mg/dl超
Alb	g/dl	3.5g/dl超	3.0～3.5g/dl	3.0g/dl未満
PT(%)	%	80%超	50～80%	50%未満
腹水		なし	治療効果あり	治療効果少ない
ICG-R15	%	15%未満	15～40%	40%超

肝がん治療

最終治療日	年 月 日
治療法	肝切除術 ラジオ波焼灼術 肝動脈塞栓術 動注化学療法 その他()
施行部位	S()



治療法	肝切除術・ラジオ波焼灼術 肝動脈塞栓術・動注化学療法 その他()
施行部位	S()
施行日	年 月 日
治療法	肝切除術・ラジオ波焼灼術 肝動脈塞栓術・動注化学療法 その他()
施行部位	S()
施行日	年 月 日
治療法	肝切除術・ラジオ波焼灼術 肝動脈塞栓術・動注化学療法 その他()
施行部位	S()
施行日	年 月 日
治療法	肝切除術・ラジオ波焼灼術 肝動脈塞栓術・動注化学療法 その他()
施行部位	S()
施行日	年 月 日

TNM分類	T	N	M	Stage
門脈内腫瘍塞栓	あり	Vp()		なし
組織所見	あり なし	高分化型・中分化型・低(未)分化型 その他()		

経過記入欄

基幹病院/手術病院受診日及び画像診断日は○を●に変更下さい

	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	1年	1年3ヶ月
受診日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
血小板					
総ビリルビン					
アルブミン					
PT(%)					
AST/ALT					
Cre					
AFP/PIVKA					
画像診断	US/CT/ MRI/GS	US/CT/ MRI/GS	US/CT/ MRI/GS	US/CT/ MRI/GS	US/CT/ MRI/GS
所見					
体重 (Kg)					

『その他の検査・受診』

経過記入欄

基幹病院/手術病院受診日及び画像診断日は○を●に変更下さい

1年6ヶ月	1年9ヶ月	2年	2年3ヶ月	2年6ヶ月	2年9ヶ月	3年
年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
US/CT/ MRI/GS	US/CT/ MRI/GS	US/CT/ MRI/GS	US/CT/ MRI/GS	US/CT/ MRI/GS	US/CT/ MRI/GS	US/CT/ MRI/GS

『その他の検査・受診』

	3年3ヶ月	3年6ヶ月	3年9ヶ月	4年	4年3ヶ月
受診日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
血小板					
総ビリルビン					
アルブミン					
PT(%)					
AST/ALT					
Cre					
AFP/PIVKA					
画像診断	US/CT/ MRI/GS	US/CT/ MRI/GS	US/CT/ MRI/GS	US/CT/ MRI/GS	US/CT/ MRI/GS
所見					
体重 (Kg)					

『その他の検査・受診』

4年6ヶ月	4年9ヶ月	5年	5年3ヶ月	5年6ヶ月	5年9ヶ月	6年
年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
US/CT/ MRI/GS	US/CT/ MRI/GS	US/CT/ MRI/GS	US/CT/ MRI/GS	US/CT/ MRI/GS	US/CT/ MRI/GS	US/CT/ MRI/GS

『その他の検査・受診』

[illegible][illegible]

通信欄

[illegible]

通信欄

[illegible]

肝がん患者さんの日常生活について

1. 安静と運動

適度な運動を心がけて下さい。適度な運動とは、1日20～30分の散歩程度の運動を意味します。

ただし、腹水・黄疸・肝性脳症(意識がおかしくなる)があるときや、肝炎の数値が高い場合(AST=GOT、ALT=GPTが200以上)は安静が必要となります。

2. 食事

肝性脳症(意識がおかしくなる)を起こしたことがある人は蛋白質(肉・魚・卵・豆腐などの大豆製品・牛乳及び乳製品等)の過剰摂取には注意が必要です。少量であれば構いませんが、不安な方は基幹病院/手術病院に確認して下さい。

腹水の貯まったことのある人は塩分を控えて下さい。

3. 飲酒

飲酒は肝機能を悪化させ、肝がん発生の危険性を増加させます。基本的に肝臓が悪い人は飲酒できません。

4. 風呂

長時間の入浴は激しい運動に匹敵するほど、体力を消耗する可能性があります。長風呂・熱い風呂は避けて下さい。

肝がん患者さんの日常生活について

5. 旅行

原則として、問題ありません。ただし、安静が必要な場合(安静と運動の項を参照して下さい)は中止して下さい。また、無理のないスケジュールを心がけ、旅先で体調不良が出現した場合に備えて、本パスを持参する様にしましょう。

6. 体重測定

一週間に2～3回は決まった時間に体重を測定し、記録しておくことをお勧めします。これは、肝機能が悪化した際に胸水や腹水が出現した場合、体重増加で確認できる可能性があるからです。診察前には、本パスの所定の欄に体重を記入しておくようにお願いします。

7. 肝炎ウイルスに感染している方へ

他人への感染を予防する必要があります。出血した際には血液が付着したものの処理は自分で行って下さい。かみそり・歯ブラシなど、血液・体液が付着する可能性があるものは他人と共用しないようにして下さい。

温泉などを含めた入浴や食事を共にすること、また接触は特に問題はありません。しかし、特に乳幼児へ食べ物を口移しで与えることは避けて下さい。

かかりつけ医療機関の皆様へ

肝がん（肝細胞癌）は肺、胃、膵臓、大腸に続いて5番目に死亡者数が多いがんです。

C型慢性肝疾患・B型慢性肝疾患患者、および非ウイルス性の肝硬変患者が肝細胞癌の定期的スクリーニング対象であると推奨されています（肝癌診療ガイドライン 2021年版）。

肝がんは根治術後も再発率が非常に高いという特徴があり、肝がん治療後のフォローアップにおいても腫瘍マーカーと画像検査による経過観察が推奨されています（肝癌診療ガイドライン 2021年版）。

かかりつけ医療機関の皆様へ

本パスを持参された患者さんに対しては基幹病院 / 手術病院とかかりつけ医が協力しながら、診察検査予定を組んで頂けるようお願い致します。

血液検査項目には末梢血液、血液生化学検査（TBil・Alb・AST・ALT・ γ GTP）、腫瘍マーカー（AFP,PIVKA-II）を可能な範囲で含めて頂きますようお願い申し上げます。

特に肝硬変の方において、食道静脈瘤、高アンモニア血症、消化性潰瘍、糖尿病などの症状が露呈しにくい病態についてもお配慮頂きますようお願いいたします。

相談への対応について

こんな時、お気軽にご相談下さい

がんと診断
されて不安

セカンドオピニオンは
どうやって
受けたいの？

仕事は
どうしたら
いいのだろう

がん治療の
ことについて
聞きたい

今後の生活が
不安

主治医から
説明を受けたが
難しくて
よくわからない

治療による
副作用が心配

医療費は
どのくらい
かかるのか

主治医に
上手く思いを
伝えられない

家族が
がんになったけど
私にできることは？

★その他、気がかりなこと等、遠慮なくご相談下さい

Q. 利用方法・利用料金は？

A. 主に電話と面談による相談ができます。

面談をご希望の場合は、予約制を取っている病院もあります。
まずはお問い合わせください。利用料金は無料です。

Q. 相談したことは
主治医や家族に報告されるの？

A. 相談者のプライバシーは厳守されます。

内容によって、主治医やご家族に伝えたほうが良いと思われる場合は、
相談者の同意を得てからお伝えします。

宮崎県のがん相談支援センター

宮崎大学医学部附属病院

(電話) 0985-85-1909

(対応時間) 月～金 9:00～16:00【祝祭日を除く】

独立行政法人国立病院機構 都城医療センター

(電話) 0986-23-4111

(対応時間) 月～金 8:30～17:15【祝祭日を除く】

宮崎県立宮崎病院

(電話) 0985-38-4107

(対応時間) 月～金 9:30～16:15【祝祭日を除く】

宮崎県立日南病院

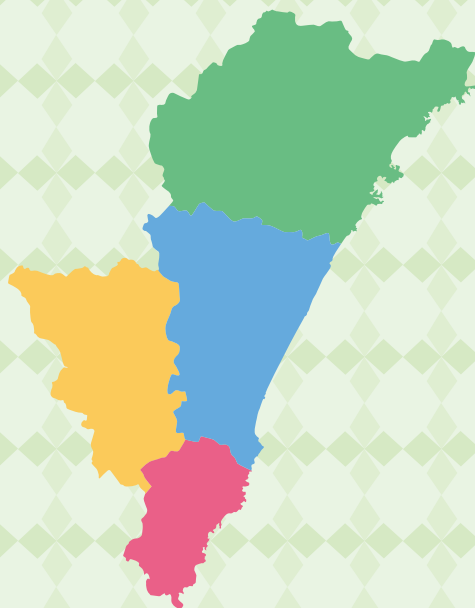
(電話) 0987-23-3156

(対応時間) 月～金 9:00～15:50【祝祭日を除く】

宮崎県立延岡病院

(電話) 0982-32-6181【代表】

(対応時間) 月～金 9:00～16:00【祝祭日を除く】



ご意見がございましたら下記にお寄せ下さい

この手帳について

宮崎県がん診療連携協議会 事務担当

TEL.0985-85-9758

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原 5200
宮崎大学医学部附属病院内

その他のことについて

宮崎県福祉保健部健康増進課

TEL.0985-26-7079

〒880-8501 宮崎県宮崎市橘通東 2-10-1